

新しい年を迎えて

校長 冨田 織江

「1年の計は元日にあり」といいます。どのような年にしていくのが目標をたて、実現できるような努力してください。目標達成には、「大きい目標をもつと同時に、短い期間でできそうな小さい目標をたてる」ということが一つのポイントです。例えば、最初からフルマラソンは走れませんが、取り敢えず5km完走であればさうごうに思います。1つの小さい目標が達成できれば、それが自信につながり、更に次の目標に向う意欲がわいてきます。勉強や部活動も同じです。実現可能な小刻みな目標をたて、粘り強く実行してみてください。1年後には、きっと大きな変化が見られると思います。

和太鼓部の皆さんは、日中青少年代表団として12月に北京や天津を訪問しました。中国の高校を訪問したときに、中国の高校生達が授業中とても積極的で、次々と自分の考えを発言するのには圧倒されたそうです。日本人の持つ勤勉さ、奥ゆかしさ等は、大切にしたい長所ではあります。これからの国際社会では、自分の考えをはっきりと表明すると同時に相手の意見を尊重できることも求められているのだと改めて思いました。

ところで、昨春秋ごろから、リストラ、派遣切り、就職内定取り消しなどのニュースがよく流れています。不況が長引き、出口が見えないような閉塞感があり、中高年も若い人達も不安を募らせています。しかし、そのような状況の中だからこそ、私は皆さんにしっかりと自分の職業観を持って、「生活と生きがい」の両面から、真剣に進路を考えてほしいと思うのです。これまでは、比較的安定した生涯設計ができた時代であったといえますが、これからは、人生の中で何度か大きい選択を迫られる時代だと実感させられます。自分はこのな生き方がしたい！と思えるものを見つけ、努力することが人としての幸せなのだろうと思います。

まだまだ寒い日が続きますが、寒さに負けないように、自分に負けないように心身を鍛えてください。風邪など引かないように十分注意して、学年のしめくりとなる3学期を充実したものにしたいと思えます。

【和太鼓部】中国訪問報告



友好交流年閉幕式での演奏(北京)

簡

和太鼓部は12月18日から1週間の日程で日中友好青少年交流訪中団に参加し、北京・天津を訪れました。北京での友好交流年閉幕式での和太鼓演奏や人民大会堂での夕食会などの公式行事参加の他、天津市内でのホームステイや、学校訪問での授業参加や交流会、両市内での博物館・植物園・万里の長城・北京五輪会場「鳥の巣」見学など内容の濃いものでした。閉幕式での演奏は中国全土に生中継され、日本でもNHKニュースで紹介されました。部員たちも、演奏だけでなく、中国高校生や大学生との交流でもとても積極的に関わり、日中双方の関係者から高い評価を得ました。

【参加生徒の感想文】(抜粋)

「たくさん中国の人々と交流し、たくさん思い出ができました。しかし、この旅を思い出だけで終わらせるのではなく、交流した人とこれから交流を続けていき、中国のことをたくさん知り、日本のことをたくさん知ってもらい、中国の悪いところばかりが見えてくる日本で、中国のいいところを見てきた僕たちがもつという人々にいいところを伝えていかなければいけないと思えました。今回の旅の目的は「交流」、その目的を達成できたと思えます。」

「学校訪問をしたとき、私は、理科の光合成の授業に参加しました。中国の子達はとても積極的に先生の質問にすばやく自分の意見を言えることが、日本では見られない光景だと思えました。とても、授業が楽しみなあーと思えました。日本人は、ひかえめな人が多く、中国人は自己主張ができる人が多いので見習わなければいけないと思えました。」

「私たちが和太鼓部は、日中友好交流年閉幕式という大きな舞台で演奏さ



中国の高校生との



万里の長城前で記念撮影

せてもらいました。日本で練習しているときは、大きいイベントだと知っていてもそのスケールの大きさがいまいち把握していませんでした。でも、リハーサルの日初めてその舞台をみるとき、絶対成功させようと思いましたが、絶対成功させようと思わず、楽しんで仕方がなかったです。その閉会式があったおかげで中国側の出演者やスタッフの若い人たちとも交流ができたのです。心に残りました。」

「ホームステイ先のお母さんはとてもやさしくしてください。とても話がはずんで友達の家に来ているような感覚でした。友達をいっぱい紹介してくれて中国での友達がたくさん増えました。もっと話したい。もっと一緒にいたい。ホームステイが終わる頃にはそんなことがかり考えていて、自然と涙ができました。これからも連絡をとりあつていきたいと思います。」

【サッカー部】中日本サッカーフェスティバル優勝

簡

サッカー部は、12月25日、28日に三重県伊賀市で開催された、第33回中日本高校サッカー新人大会」に出場しました。この大会は、関西・東海地方を中心に全国大会レベルの高校24チームが参加し、本校は4回目の出場でした。予選リーグ、決勝トーナメントと6試合を戦い、準決勝では、滋賀県の強豪校守山北高校に5対1、決勝では、今年度の奈良県の全国選手権代表校の一条高校に



授与された優勝トロフィー

1対1、PK戦で勝利し、優勝を勝ち取りました。1月上旬から始まる大阪府新人大会においても優勝を目指し、頑張ります。

【女子バスケットボール部】さつき杯準優勝

簡

12月23日、16校が参加して開催された「さつき杯」において、準優勝という結果をおさめました。

【剣道部】高槻市民大会 個人戦優勝

簡

二段の部で2学年の さんが優勝しました。

「発達と保育」授業での生徒作明が全国高校生クリエイティブコンテスト 学校賞受賞

家庭科

3学年選択科目「発達と保育」の授業で生徒が製作した布絵本と布製人形を、第14回全国高校生クリエイティブコンテスト(全国高等学校家庭クラブ連盟主催)に出展したところ、学校賞を受賞しました。賞品としてロックミシンが送られます。

第3回PTA音楽フェスタを 開催しました

総務部PTA係

12月20日(土) PTA実行委員会主催による「第3回PTA音楽フェスタ」を視聴覚教室で開催し、今年も多数の生徒・保護者の方にご来場いただきました。生徒会長と軽音ロック部員による絶妙な司会・進行のもと、生徒・保護者・教職員による5つのバンドの演奏が行われました。ゲストステージでは、本校卒業生のジャズピアノストあかぎしほさんの迫力あるピアノ演奏と、同じく本校卒業生の吉田敏之さんのボーカルをフューチャーした歌とピアノ演奏に観客は聴き入っていました。最後は、参加者と出演者により「赤鼻のトナカイ」空も飛べるはず」を合唱しました。



出演者と参加者の合唱

ゲストのステージ